

会議の概要(議事録) (案)

別紙 1

会議の名称	(番号) 1－52	令和7年度第3回墨田区バリアフリー推進協議会		
開催日時	令和7年11月13日（木）午後2時から午後3時30分まで			
開催場所	墨田区役所1階　リバーサイドホール会議室			
委員名簿	出席委員（22名）			
	氏名		所属	出欠
	1	山田　稔	茨城大学名誉教授	出席
	2	重松　景則	東日本旅客鉄道株式会社　千葉支社企画総務部経営戦略ユニット　マネージャー	出席
	3	小瀧　正和	東武鉄道株式会社　鉄道事業本部事業戦略部課長	出席
	4	浅岡　祐介	京成電鉄株式会社　計画管理部鉄道企画担当課長	出席
	5	倉本　広太郎	東京地下鉄株式会社　鉄道本部　鉄道統括部　移動円滑化設備整備促進担当課長	出席
	6	近藤　琢哉	東京都交通局　総務部技術調整担当課長	代理出席
	7	内山　琢矢	東京都交通局　自動車部事業改善担当課長	代理出席
	8	三浦　裕樹	京成バス株式会社　取締役営業部長	出席
	9	船越　浩司	京成バス東京株式会社　営業部業務課課長補佐	出席
	10	小池　毅	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務部長	出席
	11	菊池　信久	国土交通省東京国道事務所　関東地方整備局交通対策課建設専門官	出席
	12	田村　憲孝	東京都建設局　第五建設事務所補修課長	出席
	13	吉武　順子	本所警察署交通課長	出席
	14	渡邊　健次	向島警察署交通課長	出席
	15	伊藤　林	墨田区町会・自治会連合会副会長	出席
	16	星野　喜生	墨田区老人クラブ連合会会長	出席
	17	菊池　昌子	墨田区障害者団体連合会副会長	出席
	18	井上　佳洋	墨田区商店街連合会事務局長	欠席
	19	平井　靖範	国土交通省関東運輸局　交通政策部共生社会推進課長	出席
	20	荒井　大介	東京都都市整備局　都市基盤部交通政策担当課長	欠席
	21	浮田　康宏	福祉部長	出席
	22	高橋　義之	子ども・子育て支援部長	出席
	23	久井　隆司	都市計画部長	欠席
	24	武井　勝人	都市計画部参事	欠席
	25	天海　晴彦	都市整備部長	出席
	26	宮本　知明	立体化・まちづくり推進担当部長	出席
	【事務局】 ・地域福祉課　大島、山本、柴田、登坂 ・株式会社創建（委託事業者）			
	会議の公開 （傍　聴）	公開(傍聴できる)		傍聴者数

議 題	<p>1 協議事項</p> <p>(1) (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想の素案について</p> <p>ア 移動等円滑化促進方針における「当事者参画の視点」について</p> <p>イ バリアフリー基本構想における「重点整備地区の課題、バリアフリー事業の方針及び特定事業」について</p> <p>ウ 連続性のあるバリアフリー事業に向けた取組について</p> <p>(2) その他</p> <p>ア (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想の概要版(案)について</p> <p>イ 今後のスケジュールについて</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料 1 (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想素案 ・ 資料 2 (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想概要版(案) ・ 資料 3 策定スケジュール ・ 参考資料 1 アンケート、まち歩き点検、会議等の意見の場所を示したプロット図 ・ 参考資料 2 生活関連施設及び生活関連経路の点検
会議概要	
<p>1 協議事項</p> <p>(1) (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想の素案について</p> <p>ア 移動等円滑化促進方針における「当事者参画の視点」について</p> <p>事務局より資料 1 (P. 23 から P. 25 まで)を説明</p> <p>○山田会長</p> <p>P. 23 の 2 行目に「計画から整備に至るまで」と記載があるが、P. 24 では管理運営まで記載されているため、表現を工夫していただきたい。</p> <p>○事務局</p> <p>P. 24 「当事者参画の実施方法」の記載と整合するよう修正する。</p> <p>イ バリアフリー基本構想における「重点整備地区の課題、バリアフリー事業の方針及び特定事業」について</p> <p>事務局より資料 1 (P. 51 から P. 78 まで)を説明</p> <p>○天海委員〔都市整備部長〕</p> <p>P. 70 の道路特定事業の項目にある「交通安全」は、P. 55 と P. 65 の各施設等における現状と主な取組の項目にある交通安全と中身が異なるのではないかと。また、P. 71 で道路と交通安全が同じ表の中に入っている。</p> <p>○事務局</p> <p>P. 70 は、道路特定事業における交通安全分野に関する記載で、P. 55 と P. 65 の各施設等における現状と主な取組の項目にある交通安全は交通安全特定事業につながる取組を記載している。分かりにくい記載となっているため、表現等を工夫する。</p> <p>○山田会長</p> <p>課題の記載で下線が引いてあるものが優先順位の高いものという説明があったが、優先順位は何を基準として判断したのか。</p>	

○事務局

具体的な特定事業に繋がる課題に下線を引いている。下線がない課題は重要度が低いという意味ではなく、それぞれ重要ではあるが、その後何らかの形で特定事業につながる内容を示している。

○山田会長

視覚障害者誘導用ブロックの課題に関しては下線がない。道路の維持管理の中で、視覚障害者誘導用ブロックが剥がれている箇所を補修するとの記載があるため、下線を引く方がよいのではないかと。

○事務局

維持管理全体として、視覚障害者誘導用ブロックの補修を事業として挙げているが、この資料を作成した段階で指摘箇所や特定のエリアの視覚障害者誘導用ブロックを補修することを明確にしていなかったため、下線を引いていなかった。しかし、全体の方向として視覚障害者誘導用ブロックの連続性を確保する方針を掲げているため、下線を引くよう修正する。

○山田会長

視覚障害者が読んだとき、重要でないものと誤解されてしまう可能性がある。

○菊池委員〔障害者団体連合会〕

肢体不自由児者父母の会代表として本協議会に出席しているが、墨田区障害者団体連合会には精神障害部会や心身障害児部会の代表者も出席している。連合会の中で、視覚障害者からは視覚障害者誘導用ブロックがない、道が狭くて使えないといったことも聞いている。様々な立場の意見を収集するため、本協議会には、他の部会の方も委員として出席していただきたいと感じた。

○浅岡委員〔京成電鉄株式会社〕

P. 55 の公共交通の下線の課題について、当社として問題意識はあるが、対策には非常に時間がかかる項目も含まれている。下線の定義を踏まえて、押上駅のエレベーターの混雑や業平側のエレベーター設置に関する意見の下線は削除していただきたい。

○事務局

ハード面だけでなく、ソフト面である程度対応ができるものに関しては、優先順位が高いと考えている。エレベーターの課題に対する取組については、エレベーターの台数を増やすことではなく、エレベーターの優先利用等の周知啓発を想定している。

○浅岡委員〔京成電鉄株式会社〕

承知した。

○山田会長

下線の記載については、誤解のないように説明を加える等の工夫が必要と考える。

P. 70 でバリアフリーマップを作成すると記載されているが、各事業者からの情報提供等も必要になる。どのような体制で作成していくか、今の時点で考えはあるか。

○事務局

現在公開している区のバリアフリーマップについて、新たに追加する情報としては明確なものはない。今後新たに追加する情報については、必要に応じて関係事業者に依頼させていただく。

○菊池委員〔障害者団体連合会〕

P. 73 の建築物特定事業について、事業内容で「ユニバーサルシートの整備、事業化の検討」と記載があるが、今はひがしんアリーナにしか設置されていない。具体的にどこに整備する予定なのか知りたい。

○事務局

具体的な整備箇所は関係所管の事業でもあることから、現時点ではお伝えすることはでき

ないが、特定事業計画の策定時等に適宜情報共有させていただく。

○菊池委員〔障害者団体連合会〕

費用をかけてトイレを改修しても授乳室等は設置されるが、ユニバーサルシートの新設は少ないと感じている。今後、区の施設が改修される際には、ユニバーサルシートの設置を検討してほしい。イベントなどで区有施設を使う時には、おむつ替えのための部屋を1部屋借りている状況である。

○山田会長

ご意見を踏まえて、施設の大規模改修時等で設置を検討していただきたい。

○事務局

ユニバーサルシートの新設に関しては施設やトイレの広さ等を考慮する必要があり、設置が困難な場合もある。一方で、課題としては明確に認識しているため、施設管理者にも要望を共有し、今後の特定事業計画の立案時等にできる限り反映させていただく。

○山田会長

重点整備地区では今後策定する特定事業計画に基づきバリアフリー事業を進めるが、重点整備地区外においても「当事者参画の視点」を踏まえてバリアフリー事業を進めるのか。

○事務局

区全域を移動等円滑化促進地区としており、建築物等では主要なバリアフリーを施すという方針を明確に示している。しかし、施設管理者、関係事業者の事情もあるため、事務局だけでは必ずしも各設備の設置を確約できない。引き続き、施設管理者に依頼するとともに、設置が困難な場合は理由を確認しながら検討を進めていく。

○山田会長

P.23の「当事者参画の視点」では、「ユニバーサルシートの設置」を必ず整備するというものではなく、当事者の意見を聞きながら整備内容を検討するものとする。

○事務局

各事業の実施主体となる事業者が「当事者参画の視点」を持ち、P.24で挙げている当事者等からの意見を受け止め、整備や改修を進めていく。

○山田会長

P.24に「計画への反映や改善に繋げることが重要」と記載があるとおおり、当事者からの意見をすべて盛り込むのではない。しかし、意見を聞くだけではなく、計画への反映や改善に繋げることに留意していただきたい。

○重松委員〔東日本旅客鉄道株式会社〕

P.56でJR錦糸町駅の課題に「エスカレーターを歩行する人が多い」とあるが、④「日本語の読み取り、聞き取りに不安がある」に分類されているのはなぜか。

○事務局

必ずしも本人が自身の障害等に関する意見を書いているものではなく、回答者の分類を示しているものである。あくまでも1区民からの意見として認識いただきたい。

○重松委員〔東日本旅客鉄道株式会社〕

④と記載があると「エスカレーターを歩行する人が多い」と「日本語の読み取り、聞き取りに不安がある」ことに因果関係があるように読み取れてしまう。

また、エスカレーターの利用に関して課題があることは理解しているが、どの程度対応を行う必要があるのかは疑問がある。下線の削除とまでは言わないが、意見として述べる。

○事務局

分類と意見の表記については、誤解がないように表現を修正する。エスカレーターの利用については、啓発等のソフト対応につながるものとして下線を引いている。

○重松委員〔東日本旅客鉄道株式会社〕

エスカレーターの利用については、既に啓発をしているため、その範疇と理解している。

○小瀧委員〔東武鉄道株式会社〕

P. 23 の 4 行目で、「原則として当事者参画の場を設け、意見を取り入れながら検討を進めることが必要」と記載されているが、原則はどの範囲を指すのか。

○事務局

全ての修繕や改修を含めて当事者参画を実施するものとは考えていない。

○小瀧委員〔東武鉄道株式会社〕

P. 23 の特定事業者と P. 69 の特定事業の実施主体は同じと理解しているが、P. 69 の記載を例に挙げると「定期的な点検」を行う際も原則は当事者との意見交換が必要と読みとれる。

○事務局

例として挙げられた「定期的な点検」については、全ての点検で当事者参画を求めるものではないが、大規模改修等では当事者の意見を聞く場を設けていただきたいと考えている。

○小瀧委員〔東武鉄道株式会社〕

各特定事業と当事者参画の関係は明確にしてほしい。当事者参画は必要であるが、定期的な点検の度に当事者から意見を聞くのは難しく、他の特定事業でも当事者から意見を聞くことが不可能な事業もあると考える。可能な限り当事者から意見を聞いていきたいが、必ず意見を聞くとは明言できないため「原則」等の記載は再考していただきたい。

○事務局

いただいたご意見は他の特定事業者にも該当するため、事務局で改めて内容を整理する。

○小瀧委員〔東武鉄道株式会社〕

計画に記載された内容に関して、公共交通事業者として責任を伴うと認識している。

○山田会長

実際に当事者参画を行っている自治体もあるため、事例を記載することも効果的ではないか。

○渡邊委員〔向島警察署〕

P. 66 の道路に関する意見で、「イトーヨーカドー前の横断歩道でよく警察官に立っていたいているが、いないときは横断歩道で止まらない車が多いので、子連れだと怖い」という意見がある。警察署では、限られた人員で区内の交通整理を行っているため、24 時間交通整理をすることはできない。下線が引いてあると、改善が必要で警察官が 24 時間交通整理する必要があるように捉えられる。最大限努力はしているが、その時の状況等により交通整理をする箇所や優先順位は変わる。

○事務局

この課題の下線は、警察に 24 時間交通整理をしてほしいという意図でなく、横断歩道で止まらない車両に対しての意識啓発を行うものとして記載している。その他下線について、何らかの誤解が生じるのであれば、表現等を改めたい。

○渡邊委員〔向島警察署〕

下線を引いてしまうとそこが最優先になるように感じるが、そこには予算や人的労力が生じる。全体を通して下線は削除してよいのではないかと。賛同いただける方はいるか。

○重松委員〔東日本旅客鉄道株式会社〕

このページを見たときに誤解が生じるおそれがあるため、下線は削除する方向に賛同する。本来の目的とずれた認識を生むなら、全て重要なものとした方が良く考える。

○事務局

課題に下線を引くことで誤解を招くおそれがあると理解した。また、いただいた課題自体は、一度全て受け止めて今後の対策につなげていくものとする。

○小瀧委員〔東武鉄道株式会社〕

各委員の下線に関する意見を聞いていると、全員が同じ理解をすることは難しいように感じるため、記載方法を工夫してほしい。

○事務局

特に本日ご意見をいただいた箇所については、誤解が生じるおそれがあるように思う。事務局で修正を行うが、その他気になる箇所がある場合は、事務局まで意見をいただきたい。

ウ 連続性のあるバリアフリー事業に向けた取組について

事務局より資料１（P. 69）を説明

（２）その他

ア （仮称）墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想の概要版（案）について

事務局より資料２を説明

イ 今後のスケジュールについて

事務局より資料３を説明

３ 閉会

○事務局

本日ご発言できなかった内容等については、１１月２５日（火）までに事務局へメール等で連絡をいただきたい。

○山田会長

以上で、第３回墨田区バリアフリー推進協議会を閉会とする。

会議の概要は、以上である。

所 管 課

墨田区福祉部地域福祉課地域福祉担当 （電話０３－５６０８－１１６３）